

令和5年度 職員学校評価(1学期)

鹿児島市立前之浜小学校

評価[とてもよい4 よい3 もう少し2 改善を要す1] 3.3以上 2.7以下
 80%以上 60%以上80% 30%以上60%未満 30%未満

観点	評価項目		自己評価				○成果 ●課題	改善策(自己評価2.8未満)		
			1学期	2学期	3学期	1学期総合				
I 信頼される開かれた学校教育の推進	学校教育目標	1	学校教育目標の達成にむけて、各行事反省や学校評価による点検・評価及び見直し・改善等(PDCAサイクル)がなされている。	2.8			3.1	○行事反省や学校評価を行い、教育活動の見直し・改善がなされている。 ○授業公開や各種便り、教育相談等を通して家庭との信頼関係に努めている。 ○学校支援ボランティア事業等、地域や人材を活用した活動がなされている。 ○職員一人一人が教育公務員としての自覚をもち、信頼されるよう努めている。	●各行事反省を職員会議で提案して共有する。	
		2	人権尊重の視点に立った教育活動(教科等指導、生徒指導、学級経営等)や人権教育がなされている。	2.9						
	家庭・連携地域	3	学級PTA、PTA専門部活動及び学校保健委員会、家庭教育学級等、保護者と協力・連携が図られている。	3.0						
		4	地域との連携して地域の特性を生かした教育活動がなされている。(学校支援ボランティア事業の活用、学校運営協議会等)	3.3						
	機体各関係・種別関係	教職員の資質向上	5	幼保小、小小、小中連携やSC、巡回相談員等との関係機関との連携が図られている。	2.8					
			6	校内研修や各種研修会、自主研修等を通して、教職員としての資質向上に努めている。	3.0					
			7	学校全体として1アクション(校務の情報化・効率化:ペーパーレス化、データの共有)、各自の1トライ(実践事項)により業務改善がなされている。	3.0					
			8	常に教育公務員であることを自覚して信頼される行動を心掛けている。(飲酒運転・交通違反の防止・体罰・情報管理・金品管理等)	3.6					
II 確かな学力の定着		9	「前之浜スタイル」による主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを実践している。(効果的なICT活用:研修テーマとの関連)	3.0			3.1	○「前之浜スタイル」や共通実践事項により、基礎的・基本的事項の定着の取組がなされている。また、漢字力・計算力向上にも継続的に取り組んでいる。 ○研究テーマと連動し、授業でのICT機器活用に取り組んでいる。		
		10	基礎的・基本的事項の確実な定着を図っている。(100点になるまで)(めあてとまとめの板書、小テスト、指導の個別化・学習の個性化)	3.3						
		11	各学年に応じた情報活用能力の育成の指導がなされている。(ICT機器活用、プログラミング教育、情報モラル教育)	3.3						
		12	家庭と連携した個に応じた家庭学習の充実が図られている。(10分×学年+20分、内容の充実、読書習慣の定着)	2.8						
III 豊かな心の育成		13	全職員による生徒指導態勢をとり、早期発見・対応に取り組んでいる。(定期アンケート、教育相談、人間関係づくり、心の教育推進委員会等)	3.0			3.1	○心の教育推進委員会やアンケート、教育相談等を実施、職員間で情報共有をし、生徒指導の諸課題について早期発見・対応に取り組んでいる。 ○目標冊数の設定や読書まつりの実施等を通して読書意欲を高めることができた。 ○各行事や委員会活動等で、児童が主体的に活動し活躍する場を意図的に設定することができていた。	●言葉遣いや他者を思いやる気持ちについては指導していく必要がある。	
		14	道徳科を中心とした道徳性の育成がなされている。(道徳科授業の充実、各教科・活動(緑化活動、ボランティア活動等)との関連)	3.0						
		15	一事徹底事項「相手の心に届くあいさつ」の指導と見届けがなされている。(礼儀・規範意識の向上、挨拶、生活のきまり等)	2.8						
		16	読書活動の充実が図られている。(読書環境や行事の工夫、読書目標冊数の達成)	3.5						
		17	学級活動、係・委員会活動、縦割り活動、学校行事等において子供の個性やよさを引き出す場の設定がなされている。	3.0						
IV 気力・体力の向上		18	教科体育・体育的行事等を通して体力・運動能力の向上の取組がなされている。(「一校一運動」なわとび、「ちよトレ運動」)	2.5			2.8	○鉄棒や水泳等、できるように頑張った児童が見られた。 ○「元気アップ週間」等で基本的な生活習慣の意識付けができた。 ○計画的な避難訓練と適宜な安全指導を行い、自分で自分を守るよう指導をした。	●体力テストのデータを活用し、ちよトレ運動を設定して授業で取り組む。 ●体育的行事では、児童自らの目標を設定して取り組ませる。	
		19	月目標や健康診断結果をもとに、基本的健康習慣の定着がなされている。(「早寝・早起き・朝ご飯・睡眠」、メディアコントロール等)	2.8						
		20	防災教育、避難訓練、安全指導等を通して危険予知能力や危険回避能力の育成がなされている。	3.0						